



## 総括部門

# 『創年学—中高年の新しい生き方の創造—』

(平成 16 年 8 月発行)

A 4 242 ページ

本書は、中高年の新しい生き方の創造として、「創年」を提案した新しい学問領域を提示している。

「創年」に関して、地域活動、生活経済、情報、起業、知、市民大学、ボランティア・NPO、子ども、住、スマイル、健康・スポーツ、精神病理、死生観等の視点からアプローチしている。

## 目次

### 第 1 章 創年の意義と創年活動—前向きの生き方を楽しむ

福留強（聖徳大学生涯学習研究所所長・教授）

### 第 2 章 創年と生活経済

伊藤セツ（昭和女子大学人間社会学部福祉環境学科教授）

### 第 3 章 創年と情報—コーホート分析の視点による創年の IT 活用の展望—

西村美東士（聖徳大学人文学部児童学科教授）

### 第 4 章 創年と企業家

後田逸馬（元志學館大学生涯学習センター）

### 第 5 章 創年の知—パイディアの輝き

茂木和行（聖徳大学人文学部現代ビジネス学科教授）

### 第 6 章 創年と生涯学習

小山忠弘（札幌国際大学社会学部教授）

### 第 7 章 創年と市民大学—市民大学の現状分析から創年大学の構想へ—

上條秀元（宮崎大学生涯学習教育研究センター教授）

### 第 8 章 創年とボランティア・NPO

齊藤ゆか（聖徳大学生涯学習研究所専任講師）

### 第 9 章 創年と子どもたち—子どもの「居場所」となる創年のたまり場をつくろう！—

立柳聡（福島県立医科大学看護学部講師）

### 第 10 章 創年と住「コレクティブハウジング」

小玉文吾（「あしや喜楽苑」施設長）

### 第 11 章 創年とスマイル

山口一美（文教大学国際学部教授）

### 第 12 章 創年と健康・スポーツ

古市勝也（九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学  
生涯学習研究センター所長）

### 第 13 章 創年と精神病理—創年の光と蔭—

永島正紀（聖徳大学人文学部児童学科教授）

### 第 14 章 創年と死生観

宮坂いち子（聖徳大学人文学部英米文化学科教授）